

第2期島根創生計画「施策の主なKPI」の設定の方向性

1 KPIの基本的事項

- KPI（重要業績評価指標）は、施策ごとの進捗状況を検証し、次年度以降の施策の改善につなげるために設定する指標
- 島根創生計画（以下「第1期計画」）では、施策目的の達成に向けて取り組む全ての事務事業にKPIを設定
- このうち、特に重要なものや特徴的な動向を示すものなどを、「施策の主なKPI」として、第1期計画では施策ごとに20指標以内で設定し、毎年度の施策評価等を通じて、目標値に対する状況を県議会及び総合開発審議会へ報告

2 第2期島根創生計画における「施策の主なKPI」

- 第2期島根創生計画（以下「第2期計画」）においても、「施策の主なKPI」を設定し、施策の進捗管理を行う。
- 一方、20指標以内での設定は、多くの視点により進捗をお示しできるというメリットがあるものの、その多さにより、かえって施策の状況が伝わりにくいというデメリットもあると考えられる。
- 以上を踏まえ、施策の状況をより分かりやすくお示しするため、第2期計画では、「施策の主なKPI」を施策ごとに5指標程度で設定する。
- 今後、総合戦略アクションプラン（案）の策定や当初予算編成を通じた各施策の具体的な取組の検討に併せて、どういったKPIを設定するのが適当か検討を進める。